

西大和学園補習校 中学部

国語1科

10月10日の連絡

8年

さんへ

※今日の学習内容

敬語 フォリント

※今日の宿題

- 音読「敬語」「君は『最後の晩餐』を知っているか」
- 敬語フォリント③ 7-7 p46.22.14
- 書き字課題フォリント

※来週の予定

「君は最後の晩餐を知っているか」

10/24より

※連絡事項

次週 10/17はお休みです

氏名( )

1 次の一線の言葉を、適切な敬語に直して ( ) に書こう。

- ① 今日、父の知人が遠方から来る。 ( )
- ② 私は中学生だ。 ( )
- ③ 林さんはよく旅行のお土産をくれる。 ( )
- ④ 先生はお茶を飲んだ。 ( )
- ⑤ 「おばあさん、お荷物を持とうか。」 ( )
- ⑥ 講演会で、貴重なお話を聞いた。 ( )
- ⑦ 明日、私は木田さんのご自宅に行きます。 ( )
- ⑧ 友人の家で、夕食を食べました。 ( )
- ⑨ パーティーに多くのお客様をよびます。 ( )
- ⑩ 偶然、あなたの父とお会いしました。 ( )

2 次のそれぞれの文を【例】のように、敬語を用いて適切な文に改めよう。

【例】安藤さん、何を食べますか。

↓ 安藤さん、何を召しあげますか。

- ① お客様の要望に応えます。  
↓ ( )
- ② 先生は、明日、何時に自宅を出発し、何時に戻りますか。  
↓ ( )
- ③ 先生は、私のおじいさんに、「世話になった。」と言いました。  
↓ ( )

3 次の文には、それぞれ適切でない部分がある。【例】のように、適切な文に改めよう。

【例】先生は生徒の絵を拝見した。

↓ 先生は生徒の絵をご覧になった。

- ① 私は先生からもらった写真をご覧になった。  
↓ ( )
- ② 私のお母さんは、三時には集会所へいらつしやいます。  
↓ ( )
- ③ 先生は集合時間と場所を書いて、各班の班長にお渡した。  
↓ ( )
- ④ 先生にお聞きなさいたいことがあるので、放課後、職員室にいらつしやいます。  
↓ ( )

( ) 年氏名 ( )

「勉強ができる」ということと、「賢い」ということは、違<sup>ちが</sup>うことだとわかるだろうか。  
君たちが普通、「あの人は勉強ができる」と言う時、たいていそれは「成績がいい」ということだね。試験でいい点をとって、いい成績をとっている。

だけど、「賢い」というのは、そういうことじゃない。サ行下二段活用を言えなくても、ローマ帝国崩<sup>たふ</sup>壊の年号を正確に知らなくても、そんなことは全然問題<sup>も</sup>じゃない。「賢い」ということは、そういうことは全然違<sup>ちが</sup>うことなんだ。

たとえば、この場合なら、なぜ言葉というものはそんなふうに活用するものなのか、なぜ活用することで言葉の意味は変わるのか、そういう問いをもっていることだ。問いをもつて、自分で考えていることだ。あるいは、なぜローマ帝国は滅んだのか、滅ぶということは人々にとってどういうことだったのか、そういう問いをもつて、それを自分で考えていることだ。教わったことについて、自分で考えていることだ。君は、授業で教わったことについて、自分で考えたことがありますか。

文法や年号を覚えて、試験でいい点をとることなんか、その意味では簡単<sup>かんたん</sup>だ。自分で考える必要がないからだ。だから、自分で考えずに覚えただけのことなんか、試験が終われば忘れちゃうんだ。それで賢くなっているわけがないじゃないか、だって忘れちゃうんだから。

自分で考えたこと、自分の頭を使って自分でしっかり考えたことというのは、決して忘れることがない。その人の血となり肉となり、本当の知識<sup>ちしき</sup>となって、その人のものになるんだ。人間が賢くなるということは、こういうことだ。言葉はなぜ活用するのかを考えると、自分がふだん使っているこの言葉について考えることだし、ローマ帝国の崩壊と人々について考えるということは、同じ人間としての自分の心や行為<sup>こうゐ</sup>について考えることだ。考えるということは、必ず、自分のこととして考えるということだ。すべて自分に関係のあることとして考えるということなんだ。

君が勉強が面白くないのは、それがなぜ自分に関係があるのかわからないからだっただね。だけど、この世界で自分に関係のないことなんか一つもない。すべて自分に関係のあることなんだと思つて、世界を見て、勉強するようにしてごらん。勉強するということの意味と面白さが、わかるようになるはずだ。

国語、数学、理科、社会、英語、どれも勉強することにはそれなりの意味がある。それぞれが、それぞれの仕方、この世界のことを知ろうとして探求しているものだから。そして、世界に自分に関係のないことはないだから、「世界を知る」ということは、「自分を知る」ということだ。「自分を知る」ことでこそ、人間は賢くなること<sup>こと</sup>ができる。暗記するだけの勉強がつまらないのは、それで自分が賢くなったと実感<sup>じつかん</sup>することができないからだ。

この部分を書き写そう!

「14歳の君へ〜どう考えよう生きるか」より

池田晶子 毎日新聞社







西大和学園補習校 中学部

<教科名> 国語②

10月10日の連絡

8年

※今日の学習内容

漢字の学習 P34) ②③ P36) ①-③  
P35) ②③ P37)

漢字テスト テストNO.19②, NO.20①.

※今日の宿題

漢字の学習 P34) ②③, P36) ①-③  
P35) ②③ P37)

プリント NO.20②, NO.21①.

※10月24日の予定

漢字の学習 P38) ①-③ P40) ①-③  
P39) ①-③ P41)

漢字テスト NO.20②, NO.21①

※連絡事項

Blank box for contact information.



西大和学園補習校 六年  
漢字テスト(読み)

①～④の漢字に読みかな  
を書きなさい。本の後は短文作  
り

① 書物を著す。

② 彼を委員長に推す。

③ 扇の的。

④ 敵前に陣を構える。

⑤ 敵が突如現れる。

⑥ 海に小舟を浮かせる。

⑦ 馬の手綱を取る。

⑧ 度重なる失敗。

⑨ 面を上げる。

⑩ 勝利を祈念する。

10月24日テスト

短文作り

西大和学園補習校 六年  
漢字テスト

名前

⑪ 津々浦々に広まる。

⑫ 感に堪えない様子。

⑬ 十余騎の兵。

⑭ 悔しい思いをする。

著す。

1

推す

2

突如

5

度重なる

8

津々浦々

11

感に堪えない

12.



西大和学園補習校 八年 漢字テスト(書き)	
	①～⑭を漢字とひらがなを使って書き直しなさい。
①	しよまつをあらわす。
②	かれをいんちやうにおす。
③	おおきのみと。
④	こきせんにじんをかかえる。
⑤	こきがとひをあらわす。
⑥	うみにつらねをうかす。
⑦	うまのたうなをとる。
⑧	たがけんなるしつせい。
⑨	おもてをあげる。
⑩	よりの外をきかぬする。

10月31日テスト

西大和学園補習校 八年 漢字テスト	
	名前
①	しよまつをあらわす。
②	かれをいんちやうにおす。
③	おおきのみと。
④	こきせんにじんをかかえる。
⑤	こきがとひをあらわす。
⑥	うみにつらねをうかす。
⑦	うまのたうなをとる。
⑧	たがけんなるしつせい。
⑨	おもてをあげる。
⑩	よりの外をきかぬする。

国語② 八年

No.20 ①

西大和学園補習校 八年 漢字テスト	
①～⑭の漢字に読み仮名を書きなさい。又その後の語句を使って短文を作きなさい。	
①	顔の輪郭を描く
②	県の嘱託職員
③	多くの犠牲をほらう
④	紙幣を数える
⑤	攻撃を阻止する
⑥	租税を納める
⑦	選手宣誓を行う
⑧	詩を朗詠する
⑨	哀愁に満ちた歌声
⑩	死者を追悼する

10月10日テスト

\*

西大和学園補習校 八年 漢字テスト	
名前	
⑪	遺憾の意を表す
⑫	新しい仕事に就く
⑬	退路を断つ
⑭	布をはみで裁つ
1	輪郭
9	哀愁
3	犠牲
5	阻止
11	遺憾
13	断つ

西大和学園補習校八年  
漢字テスト

①～④を漢字とかなで  
書き直しなさい。

①

世の人はなをばりする

②

おれいの光しなをくばる

③

かみにはいけとかく

④

しんじをせりぬする

⑤

いはんせなかんたかた

⑥

かほつがくをたけつた

⑦

しんじのせりがた

⑧

こねにふたねおね

⑨

たけつをいける

⑩

おもしをいたにたす

10月10日テスト

西大和学園補習校八年  
漢字テスト

名前

⑪

くじりのくじり

⑫

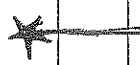
いかにがからする

⑬

たけつがくをたけつた

⑭

もうたにたす





西大和学園補習校 中学部	
8年数学	10月10日の連絡
8年	さん

※<sup>きょう</sup>今日の<sup>がくしゅうないよう</sup>学習内容

教科書 p 68～72 一次関数と方程式

※<sup>きょう</sup>今日の<sup>しゅくだい</sup>宿題

ワーク p 44, 45, 46

※<sup>じしゅう</sup>次週の<sup>よてい</sup>予定

教科書 p 73～75 一次関数の利用

※<sup>れんらくじこう</sup>連絡事項

特になし



西大和学園補習校 中学部	
理科	10月10日の連絡
年	さん

※今日の<sup>きょう</sup>学習<sup>がくしゅう</sup>内容<sup>ないよう</sup>

教科書 p 27～29 感覚器官のつくりとはたらき  
教科書 p 34～35 運動のしくみ  
教科書 p 36～47 動物のなかま分け

※今日の<sup>きょう</sup>宿題<sup>しゅくだい</sup>

ワーク p 13, 16, 18～21

※次週<sup>じしゅう</sup>の予定<sup>よてい</sup>

教科書サイエンス2 p 48～53 生物の進化  
教科書サイエンス3 p 4～8 生物の成長

※連絡<sup>れんらく</sup>事項<sup>じこう</sup>

10月24日の授業からサイエンス3の教科書を使います。  
9年生：サイエンス3の教科書を持ってきてください。  
7, 8年生：サイエンス3の教科書を貸出します。  
ワーク（理科の学習3）はコピーを配布します。



西大和学園補習校 中学部

<教科名> 社会

10月10日の連絡

7~9年

きょう がくしゅうないよう  
※今日の学習内容

教科書 p.126-131

きょう しゅくだい  
※今日の宿題

教科書の音読 p.132-139 語句ノート作成

よてい  
※10月24日の予定

教科書 p.132-139

れんらくじこう  
※連絡事項